

令和6年度「人権教育研究指定校事業」指定校事業報告書

委託先（ 東京都 ）

1. 調査研究のテーマ、概要

調査研究のテーマ	互いに高め合う児童の育成 ～思考力・判断力・表現力を高める工夫を通して～
----------	---

○調査研究のテーマを設定した目的

本校の学区は、昔ながらの小規模家内工業（皮革製品製造業など）と小売店業、会社員等の混在地域で、下町特有の人情の細やかさがある地域である。本校は開校以来、人権尊重教育推進校として、人権教育を推進してきた。人権教育は本校の学校経営計画や、校内研究の要となっている。そのため引き続き人権教育を広く普及、啓発していくことが本校の使命であるにとらえている。

また、友達、地域の人々やゲストティーチャーなどの多様な他者との豊かな関わり合いを通し、児童一人一人が意見を伝え合う中で、自ら考えを深めたり、広めたりできる思考プロセスを構築すると同時に、他者に理解しやすい表現方法を身に付けることで、互いに認め合い自ら成長することができ、児童の思考力・判断力・表現力を高める主体的な活動になると考え、本テーマを設定した。

○調査研究の概要

同和問題について、第6学年で歴史的背景を調べたり、皮革産業体験したりする学びを系統的に展開することで、児童は自分自身との関わりから人権課題についての正しい理解と認識を深めることができるようにする。その際、ストーリー性をもたせた単元構造で探究的な学習活動の工夫を行うとともに、多様な情報を異なる見方・考え方に触れる協働的な学習の工夫を行うことで、思考力・判断力・表現力を互いに高め合う児童を育成する。

2. 基本情報

研究指定校の概要

○学校名

東京都台東区立東浅草小学校

○これまでの研究指定等の状況

平成28年度 文部科学省「人権教育研究指定校事業」
令和4・5年度 東京都教育委員会「人権尊重教育推進校」

○学級数

10学級

○児童生徒数

273人（令和7年2月3日現在）

○URL

<http://taitocity.net/higashiasakusa-s/index.html>

○指定理由

本校は、浅草北部に位置する。関東大震災や戦災等を経て、現在は東京の下町の一画として、皮革産業の工場が複数ある地区となっている。学区に皮革産業が集中しており、人権について正しい知識を教え、差別を許さない態度を育成する必要がある。そのため、人権教育研究指定校事業を申請する。

3. 取り組んだ人権課題について

取り組んだ人権課題（該当するものに○印。複数選択可。うち、最も主要な人権課題1つに◎をつけること。）※人権教育研究推進事業公募要領（別紙）「2. 事業の内容」を必ず確認すること。

① 子供	○
② 女性	
③ 高齢者	○
④ 障害者	○
⑤ <u>同和問題</u>	◎
⑥ <u>アイヌの人々</u>	
⑦ <u>外国人</u>	○
⑧-1 HIV感染者等	
⑧-2 <u>ハンセン病患者等</u>	
⑨ 刑を終えて出所した人	
⑩ 犯罪被害者等	
⑪ インターネットによる人権侵害	
⑫ 北朝鮮当局による拉致問題等	
⑬ 性的指向、性自認	
⑭ その他（ ）	

4. 調査研究の内容等

○調査研究の内容

研究仮説を以下のように設定する。

人権教育を土台とし、生活科と総合的な学習の時間において、ストーリー性をもたせた単元構想で探究的な学習活動の工夫を行うと共に、多様な情報や異なる見方・考え方に触れる協働的な学習活動の工夫を行えば、児童は主体的に学習に取り組み、思考力・判断力・表現力を互いに高め合うことができるであろう。

児童が思いや願い・問いをもって探究する単元作りや児童の振り返りから次時の見直しをもち、協働の活動の中で自己の考えや表現を深める授業作りを通して、互いに高め合い、自分やみんなを大切にすることを育てることができると思う。

そこで、以下の内容を実施する。

- ・人権教育年間指導計画の作成
- ・人権教育カリキュラムの作成
- ・各学年による研究授業・協議会
- ・児童による人権標語の作成
- ・人権集会や授業での外部協力者やゲストティーチャーとの交流
- ・教職員による人権教育研修会・フィールドワーク
- ・リーフレットの作成

○実施方法

○人権教育年間指導計画や人権教育カリキュラムに則り、人権課題や人権課題に関する取組について系統的に指導し、6年間で児童が様々な人権課題を学ぶ機会を設定する。当初の計画通り、以下の取組を行った。

- ・第1学年（生活科） 「生命尊重」に関わる取組
動植物の成長や変化に気付く学習を通して、生命に愛着をもち、大切にしようとする態度を育てる。
- ・第1・2学年(特別の教科 道徳) 人権課題「子供」に関わる取組
特別の教科 道徳を要とした、道徳教育を通して日頃から人権感覚を養う。
- ・第3学年（総合的な学習の時間） 人権課題「高齢者」に関わる取組
高齢者より加齢による変化について学ぶことを通して、相手を尊重しながら共に生きていこうとする態度を養う。
- ・第4学年（総合的な学習の時間） 人権課題「障害者」に関わる取組
障害や障害者について理解する活動を通して、相手を尊重しながら共に生きていこうとする態度を養う。
- ・第5学年（総合的な学習の時間） 人権課題「外国人」
外国人や外国人に対する偏見・差別について理解する学習を通して、相手を尊重しながら共に生きていこうとする態度を養う。
- ・第6学年（総合的な学習の時間）人権課題「同和問題」
差別を受けていた人々の優れた技術が社会の発展を支えたことに気付かせる学習を通して、人権課題「同和問題」に関する歴史について理解させる。
- ・全学年 人権課題「子供」に関わる取組

人権の木の取組、人権スピーチ大会を実施することで、友達を思いやる気持ちを全校で共有する。

- 上記の学習において、友達、地域の人々やゲストティーチャーなどの多様な他者と豊かな関わり合いを通し、児童一人一人が意見を伝え合う中で、自ら考えを深めたり、広めたりできる思考プロセスを構築すると同時に、他者に理解しやすい表現方法を身に付けることで、互いに認め合い自ら成長する活動を行うことができた。
- 各学年による研究授業・協議会、教職員による人権教育研修会・フィールドワークの際に、講師を招聘し、教員の人権意識を高めるとともに、人権教育を通じて育てた資質・能力等について理解を深めることができた。
- 当初、全校に向けてのいじめについて講演会を実施し、感想を伝え合うことで、いじめを絶対に許さない、見逃さない心情を醸成する取組を予定していたが、昨年度講演を依頼した団体と日程が合わず実施を見合わせた。

○検証・評価・改善・普及

- ・児童アンケートを年2回実施。特に「自分は好きですか」「自分やみんなを大切に生活していますか」「学校の中に差別やいじめはあると思いますか」という設問を中心に、数値化したものを目安にするとともに、児童の実態に寄り添いながら検証・推進していくことができた。

	質問内容	6月		12月	
		肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
①	自分は好きですか	80%	20%	82%	18%
②	自分やみんなを大切に生活していますか	89%	11%	97%	3%
③	学校の中に差別やいじめはあると思いますか	22% (ある)	78% (ない)	15% (ある)	85% (ない)

→①、②の項目において、これまでの人権教育の積み重ねにより6月の調査でも肯定的回答の割合が高い。また、今年度の研究実践と日常実践の成果により肯定的回答を約2ポイント～8ポイント向上させることができた。研究推進により、児童の自己肯定感の向上や仲間意識の醸成などにつながった。

- ・4(2)に記載した各学年の教科・科目においては、児童のノートやワークシートへの記載内容、発言や態度をもとに知識的側面、価値・態度的側面、技能的側面の3側面の評価を行った。

観点	〈学年・教科・人権課題〉	評価指標	事業開始時	事業終了間際
	〈1 学年・特別の教科 道徳 子供〉		約 (%)	
知	友達のよきに目を向け、お互いを思いやることの大切さを理解している。		5 7	9 1
価	他者の立場に立って、その人の気持ちや願いを想像したり、共感的に理解したりしようとしている。		4 3	8 6
技	日頃から相手の立場にたって考え、行動することができる。		4 5	8 8
	〈2 学年・特別の教科 道徳 子供〉			
知	自分では気付いていないが、差別されていると相手に感じさせてしまう場合があることを理解している。		3 5	8 5
価	自分も相手も気持ちよく過ごせるような学校・学級づくりに参画しようとしている。		4 0	7 5
技	相手の気持ちを考えて自分の考えを相手に伝えたり、相手の意見を大切にしたりして耳を傾けることができる。		6 0	8 0
	〈3 学年・総合的な学習の時間 高齢者〉			
知	地域には、高齢者介護施設や高齢者を支援する人々がいることを知るとともに、多様な人が暮らしている町のよきや、一人一人の存在が守られていることを理解している。		5	9 0
価	探究活動を通して、高齢者や高齢者の身近な人々の思いや願いを知り、これからも自分にできることを考え、自らの行動や生活に生かそうとしている。		8	8 5
技	学習を通して学んだ高齢者や高齢者の身近な人々の願いや思いをもとに、相手の立場になって考え、必要な手助けを進んで行うことができる。		5	8 0
	〈4 学年・総合的な学習の時間 障害者〉			
知	地域には、障害者支援施設や障害者を支援する設備等があることを知るとともに、多様な人が暮らしている町のよきや一人一人の存在が守られていることを理解している。		5	9 5
価	探究活動を通して、障害者や障害者の身近な人々の思いや願いを知り、これからも自分にできることを考え、自らの行動や生活に生かそうとしている。		1 0	9 0
技	学習を通して学んだ障害者や障害者の身近な人々の願いや思いをもとに、相手の立場になって考え、必要な手助けを進んで行うことができる。		5	8 0
	〈5 学年・総合的な学習の時間 外国人〉			
知	外国に住む日本人、また日本に住む外国人の中には、偏見や差別で不当な扱いを受けている方もいることを知る。またそれは許されないことであり、社会全体で解決していくべき課題であることを理解している。		4 5	100
価	他国の様々な文化を調べて、日本で生活する外国人との交流を通じ、偏見や差別の解消に向けて自分にできることを考え、取り組もうとしている。		6 0	100
技	課題の解決に必要な情報を集め、その情報を整理・分析するとともに、相手にわかりやすくまとめ、発信することができる。		6 0	9 7
	〈6 学年・総合的な学習の時間 同和問題〉			
知	江戸時代に皮革産業など優れた技術をもつ人々が、偏見や差別を受けていた学習を基に、地域で盛んな皮革産業に差別の歴史があったことを身近な事実として理解している。		0	8 0
価	皮革産業について調べたい内容を児童自身が自己決定したことで、皮革産業に対する関心が高まり、偏見や差別をなくしたいという思いとともに地域産業をさらに盛り上げていきたいという気持ちをもつことができている。		6 0	8 0
技	偏見や差別の歴史や皮革製品の魅力についてより詳しく知ったことで、皮革製品の魅力を伝えたい気持ちが高まり、多くの人に工夫して発信することができる。		0	7 5

・教職員アンケートを行い、研究の検証・評価を行った。

→児童同士が双方向での豊かな交流から対話を通して新たな思いや考えを生み出すために収集した情報を整理・分析した。結果、児童は学習課題に意欲的に取り組むことができた。また、人権教育の全体計画・年間指導計画を踏まえて、「話し合いツール」「思考スキル」「思考ツール」「話型」を有効活用したことで、系統性を意識した指導を実施することができた。

・研究の内容や成果等を記載したリーフレットを作成・配布した。今後は人権教育に関

する実践例の普及啓発に貢献する必要がある。

- ・委託期間終了後も、普遍的な視点からの取組及び個別的な視点からの取組を充実させ、地域の様々な教育資源を活用し、人権課題に関わる偏見や差別意識の解消に向けての教育実践について継続的に続けていく

5. 人権教育にかかると年間計画

(2)人権教育の年間指導計画 【第1学年】

考え方

- 「自分の大切さと共に他の人の大切さを認めることができるようになり、様々な場面で具体的な行動や態度に現れるようにする。」
- 「入学期、教師と児童の信頼関係を築くとともに、一人一人のよさを認め、のびのびと楽しい学校生活が送れるようにする。」

人権教育の年間指導計画作成のための方針【第1学年】

- ・体験的な活動を取り入れる。
- ・教師と児童の信頼関係を築き、一人一人のよさを認める指導を進める。
- ・望ましい人間関係を育てるために子供同士の関わりを重視した活動を取り入れる。
- ・自分の成長に気づき、感謝の気持ちをもつ。
- ・友達や身近な人々と触れ合い、一緒に活動することを通して、身近な人々や地域に愛着をもてるようにする。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
各教科	算数 K 論理的な思考、事象を客観的に判断する力を育てる。											
	生活「いねんせいがはじまるよ」K 学校に慣れしみを共に友達と関わりを築める。 国語「どうぞよろしく」K 初めての友達と交流。 生活「なかよし いっぱいがっこうたんけん」K	国語「よく聞いて はなそう」K 言葉が好きなことを聞いて、話し合いの大切さを学ぶ。 生活「いきもの と なかよし」K 自分でお育てることを通して、算数への関心をもち多くのことに興味くるとともに、生活の工夫として、関わりのある人へできた種をプレゼントするなどして楽しく過ごす。	国語「おけを はなそう」K 色紙の交換や種子とともに、通学が始まる。 生活「いきもの と なかよし」K	生活「いきもの と なかよし」K 生活「いきもの と なかよし」K	生活「いきもの と なかよし」K 生活「いきもの と なかよし」K	国語「こんなことが あったよ」K 身の周りの出来事や文章で。	生活「いきもの と なかよし」K 友の集まりや遊び、おもしろく遊んで楽しむ、その楽しさを身近な人へ伝える。	生活「いきもの と なかよし」K 友の集まりや遊び、おもしろく遊んで楽しむ、その楽しさを身近な人へ伝える。	生活「おひやく きこう」K 友の集まりや遊び、おもしろく遊んで楽しむ、その楽しさを身近な人へ伝える。	国語「これはなんでしょう」K 二人一組で観察して、観察を伝える。	生活「いきもの と なかよし」K 友の集まりや遊び、おもしろく遊んで楽しむ、その楽しさを身近な人へ伝える。	国語「いきもの と なかよし」K 友の集まりや遊び、おもしろく遊んで楽しむ、その楽しさを身近な人へ伝える。
	生活「なかよし いっぱいがっこうたんけん」K	算数「船のつれにのってリズムを打とう」K 算数に対する感情を育てる。	生活「たのしかったことをつたえよう」K 友の自然たかかわったことを語り、友達と交流する。	生活「むしと なかよし」K 身近な自然に調子や感情を伝える。	国語 K 道徳的な態度活動の基礎的能力を身に付け、豊かな感情を育てる。	生活「いきもの と なかよし」K 友の集まりや遊び、おもしろく遊んで楽しむ、その楽しさを身近な人へ伝える。	生活「いきもの と なかよし」K 友の集まりや遊び、おもしろく遊んで楽しむ、その楽しさを身近な人へ伝える。	生活「いきもの と なかよし」K 友の集まりや遊び、おもしろく遊んで楽しむ、その楽しさを身近な人へ伝える。	生活「いきもの と なかよし」K 友の集まりや遊び、おもしろく遊んで楽しむ、その楽しさを身近な人へ伝える。	生活「いきもの と なかよし」K 友の集まりや遊び、おもしろく遊んで楽しむ、その楽しさを身近な人へ伝える。	生活「いきもの と なかよし」K 友の集まりや遊び、おもしろく遊んで楽しむ、その楽しさを身近な人へ伝える。	生活「いきもの と なかよし」K 友の集まりや遊び、おもしろく遊んで楽しむ、その楽しさを身近な人へ伝える。
特別の教科 道徳	Cよりよい学校生活 集団生活の充実 K 先生や友達、友達に慣れ、学校生活を楽しくしようとする気持ちをもてる。 国語 K 気持ちのよいあいさつを心掛け、人に明るく接しようとする気持ちを育てる。	国語「思いやり」K 友達や身の周りの人に思いやりをもち、親切にしようとする気持ちを育てる。 A 態度、姿勢 K 健康や安全に気を付け物や食事を大切に、身の回りを整え、わが校を誇りにし、健康で楽しい生活しようとする気持ちを育てる。	D 命の尊厳 K 生きること喜び、生命を大切にしようとする気持ちを育てる。 国語 K 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などを心掛け、明るく接しようとする気持ちを育てる。	D 感動、畏敬の志 K 身の周りの自然や、身近なものに感じる感動を味わう。 国語「思いやり」K 身近にいる幼いや高齢者に思いやりをもち、親切にしようとする態度を養う。	D 自然愛護 K 身近な自然に親しみ、動物等に思いやりをもち、大切にしようとする態度を育てる。 B 感謝 K 日ごろ大切にしている人々に感謝しようとする態度を養う。	C 家族愛、家庭生活の充実 K 家族を尊重し、喜んで手伝いしようとする態度を育てる。 国語「思いやり」K 身近にいる幼いや高齢者に思いやりをもち、親切にしようとする態度を養う。	C 性別の尊重 K 約束や学校の守り、みんなが思うものを大切にしようとする態度を育てる。 国語「思いやり」K 身近にいる幼いや高齢者に思いやりをもち、親切にしようとする態度を養う。	B 感謝 K 日ごろ大切にしている人々に感謝しようとする態度を育てる。 A 勇気と勇気、努力と強い意志 K よいと思うことは進んで行おうとする気持ちを育てる。	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 K 身のまわりの文化に親しみ、愛着をもつ心を育てる。 D 命の尊厳 K 自分が持っていることを大切に、生命を大切にしようとする態度を育てる。	A 正義、誠実 K うそをついたりごまかしたりしない、誠実に生活しようとする気持ちを育てる。 D 感動、畏敬の志 K 美しいものにふれすがすがしさを感ずる気持ちを育てる。	B 友情、信頼 K 友達と仲良く、助け合おうとする気持ちを育てる。 Cよりよい学校生活、集団生活の充実 K 先生を敬愛し、謙遜とたくましく学校生活を楽しくしようとする態度を養う。	
特別活動	1年生活を迎える会 K 入学した喜びや、お楽しみや先生方に慣れしみをもち、 ともだちいっぱい K 好きなものをあに K	運動会 K 協力しあって競技をする。地域の高齢者や幼児を招待し、交流を深める。 人権の本 K 気持ちのよい挨拶について考え、人間関係の基礎をつくる。 好きなものをあに K				人権の本 K 言葉遣いについて振り返り、思いやりのある言葉遣いの大切さを学ぶ。			読書会 K 協力して作業を作る。	8年目を迎える会 K 感謝の心を込めて贈るを送る。 人権の本 K 気持ちのよい挨拶、伝えよう。	もうすぐ2年生活 K 次学年に向けて協力しあうことにより、1年生活を送ることに大切さを伝える。	
その他						スピーチ大会 K 友達と意見を交換し、人権問題について考えを深める。	トライムチャレンジ月間 K 人権週間に向けての取り組み 人権標語、人権作文、人権がスター等					

人権課題： A「女性」 B「子供」 C「高齢者」 D「障害者」 E「異和問題」 F「アイスの人々」 G「外国人」 H「HIV感染者等」 I「犯罪被害者やその家族」 J「その他の人権問題」 K「習慣的な視点からの取組」

(3)人権教育の年間指導計画【第2学年】

考え方

- 「自分の大切さと共に他の人の大切さを認めること」ができるようになり、様々な場面で具体的な行動や態度に現れるようにする。
- 児童相互の望ましい人間関係を育てるため、心が触れ合う機会や場を設け、進んで友達と関わられるようにする。

人権教育の年間指導計画作成のための方針【第2学年】

- 体験的な活動を取り入れる。
- 身近な地域や人々との関わりを大切にする。
- 教師と児童の信頼関係を築き、一人一人のよさを認める指導を進める。
- 学び合いの大切さを実感できる学習活動を展開する。
- 異学年の児童や友達、身近な人々との触れ合い、一緒に活動することを通して、自分や友達、そして地域に影響をもてるようにする。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
各教科	<p>国語 「ともだちはどこなな」K 自分の関わり合いと他者との関わり合いを比較して関わり合いが大切であることを考える。</p> <p>生活 「わくわくする2年生」K 上級生として一考年になりながら、学習を頑張る。</p>	<p>国語 「スイミー」K 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。</p> <p>生活 「ぐんぐん そだて わたしの野菜」K 植物を大切に育てようとする気持ちをもつ。</p>	<p>国語 「あつらいいな こんなもの」K 丁寧な言葉と普通話の言葉の違いに着目して使うことができる。</p> <p>生活 「こんなもの、買ったよ」K 自分が買った「いぬ」は買うのも友達にあげる文章を書く。</p> <p>生活 「生きもの なかよし 大作せん」K 生きものや動物のいのちを大切にしようとする態度を育てる。</p>	<p>国語 「あつらいいな こんなもの」K 丁寧な言葉と普通話の言葉の違いに着目して使うことができる。</p> <p>生活 「インタビューたんけん」K 自分の姿を想像し、様々な場面や他の人々などの関わり合いに関心をもち、調べの意図を調べる。</p>	<p>算数 K 論理的な思考、事象を客観的に判断する力を育てる。</p> <p>国語 「どうぶつ園のじゅうり」K 文章の内容と自分の経験とを結びつけて、感想をもつことができる。</p> <p>国語 「お手紙」K 自分の思いを伝えて、相手に届くように書くことができる。</p> <p>国語 「もうだんにのってほしい」K 自分の思いを伝えて、相手に届くことができる。</p>	<p>国語 「わたしはおねえさん」K 文章の内容と自分の経験とを結びつけて、感想をもつことができる。</p> <p>生活 「うごくうごく わたしのおもちゃ」K 身近なものを貸って遊びや遊びに使うものを工夫して作る。</p> <p>国語 「あしたへジャンプ」K 大それた自分のことを夢見たり、自分の成長に期待したり、友だちに憧れているかへ感動の気持ちをもつことができる。</p>	<p>国語 「スーパの白い馬」K 文章を読んで感じたことや自分がかかったことを想像することができる。</p> <p>生活 「楽しかったよ、2年生」K 身近な人や経験したことがどうも思い出せぬ、忘れたものや必要な準備を調べる。</p> <p>生活 「思い出しようとしたことをつたえよう」K お友達に話しているかへ感動の気持ちをもつ。</p>					
特別の教科 道徳	<p>G よりよい学校生活 集団生活の充実 学校生活、学校のルールを守り、学校の生活を楽しむこと。</p> <p>B 友情、信頼 K 友達と仲良くし、よき関係を築くこと。</p>	<p>D 自然愛護 K 自然の恵みに感謝し、動物植物に思いやりをもち、自然の恵みを守る。</p> <p>B 親切、思いやり K 友達や身の周りの人に思いやりをもち、親切にしようとする心構えを育てる。</p> <p>D 感動、勇気の志 K 思いやりの心から、すばらしいことをしようとする心構えを育てる。</p>	<p>D 生命の尊厳 K 生きることを喜び、生命を大切にしようとする心構えを育てる。</p> <p>G よりよい学校生活 集団生活の充実 学校生活、学校のルールを守り、学校の生活を楽しむこと。</p> <p>C 命の尊厳 K 命の尊厳を大切にし、命を大切にしようとする心構えを育てる。</p>	<p>B 友情、信頼 K 友達と仲良くし、助けあおうとする態度を養う。</p> <p>A 節度、忍耐 K 身の回りや物、物に正しい生活をし、守る心構えを育てる。</p> <p>B 親切、思いやり K 思っている人や物、物に思いやりをもち、思いやりの心から、すばらしいことをしようとする心構えを育てる。</p>	<p>G 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 K 郷土の文化や伝統、国や郷土を愛する態度を育てる。</p> <p>D 生命の尊厳 K 生きることを喜び、生命を大切にしようとする心構えを育てる。</p> <p>B 感謝 K 自分や他者に対して思いやりの心から、すばらしいことをしようとする心構えを育てる。</p>	<p>D 生命の尊厳 K 生きることを喜び、生命を大切にしようとする心構えを育てる。</p> <p>B 感謝 K 自分や他者に対して思いやりの心から、すばらしいことをしようとする心構えを育てる。</p> <p>G 勤労、公共の精神 K 働くことの大切さを理解し、みんなのために働く心構えを育てる。</p>	<p>G 家族愛、家庭生活の充実 K 家族や身近な人を大切に思い、家族生活の充実を目指す。</p> <p>D 感動、勇気の志 K 思いやりの心から、すばらしいことをしようとする心構えを育てる。</p> <p>B 友情、信頼 K 友達と仲良くし、助けあおうとする態度を養う。</p>	<p>D 感動、勇気の志 K 思いやりの心から、すばらしいことをしようとする心構えを育てる。</p> <p>A 希望と勇気、努力と強い意志 K 夢や目標に向かって努力し、努力と強い意志を育てる。</p> <p>B 友情、信頼 K 友達と仲良くし、助けあおうとする態度を養う。</p> <p>A 希望と勇気、努力と強い意志 K 夢や目標に向かって努力し、努力と強い意志を育てる。</p>				
特別活動	異学年交流 なかよし新活動 / 集会 K											
その他	<p>1年生を迎える会 K 協力して1年生を迎える。</p> <p>運動会 K 協力して演技をする。地域の運動会や幼児会を招待し、交流を深める。</p> <p>人権の水 K 気持ちの良い挨拶について考え、人間関係の基礎をつくる。</p> <p>学級活動 「いじめのない学級づくり」K</p>	<p>あいさつは心のりぽん K あいさつカードを活用し挨拶や丁寧な言葉について考える。</p> <p>あいさつ運動 K 挨拶を通して、温かい人間関係の基礎を作る。</p>	<p>人権の水 K 気持ちの良い挨拶について考え、人間関係の基礎をつくる。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p>	<p>人権の水 K 気持ちの良い挨拶について考え、人間関係の基礎をつくる。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p>	<p>人権の水 K 気持ちの良い挨拶について考え、人間関係の基礎をつくる。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p>	<p>人権の水 K 気持ちの良い挨拶について考え、人間関係の基礎をつくる。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p>	<p>人権の水 K 気持ちの良い挨拶について考え、人間関係の基礎をつくる。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p>	<p>人権の水 K 気持ちの良い挨拶について考え、人間関係の基礎をつくる。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p>	<p>人権の水 K 気持ちの良い挨拶について考え、人間関係の基礎をつくる。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p>	<p>人権の水 K 気持ちの良い挨拶について考え、人間関係の基礎をつくる。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p>	<p>人権の水 K 気持ちの良い挨拶について考え、人間関係の基礎をつくる。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p>	<p>人権の水 K 気持ちの良い挨拶について考え、人間関係の基礎をつくる。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p> <p>スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権問題について考えを深める。</p>

人権課題： A「女性」 B「子供」 C「高齢者」 D「障害者」 E「異和問題」 F「アイスの人々」 G「外国人」 H「HIV感染者等」 I「犯罪被害者やその家族」 J「その他の人権課題」 K「普遍的な視点からの取組」

(5)人権教育の年間指導計画【第4学年】

考え方

・「自分の大切さと共に他の人の大切さを認めること」ができるようになり、様々な場面で具体的な行動や態度に現れるようにする。
 ・自分らしさを考えるとともに、相手の気持ちを理解し、協力して行動できるようにする。

人権教育の年間指導計画作成のための方針【第4学年】

・体系的な活動を取り入れる。
 ・身近な地域や人々との関わりを大切に。
 ・教師と児童の信頼関係を築き、一人一人のよさを認める指導を進める。
 ・学び合いの大切さを実感できる学習活動を展開する。
 ・友達と自分の考え方の違いが分かり、自分や友達を大切にしようとする心育てる。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
各教科	国語「力を合わせてばらばらに」K 朝、午が伝えたいことや自分の気持ちにこころを込めて、自分の考えを伝えよう。 社会「わたしたちの東京都」K 東京都の特色や自然のつづがらねを説明し、地域のよさを紹介しよう。	国語「聞き取りメモのくふう」K 相手の話を聴いたり聞いたりすることがある。 社会「飲みよけらしをつくる」K 水運水の確保やゴミの処理などに関わる人々が健康で安全な生活のために役立っていることを考え、地域の一員として協力しようとする。	国語「お礼の気持ちを伝えよう」K 自分の感謝の気持ちが相手に伝わるように手紙を書こう。 国語「一つの花」K 場面を比べて読み、心に残ったことを伝えよう。	国語「あなたなら、どう思う」K 目的を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えを伝えよう。	国語「クラスみんなで決めるには」K 役割分担しながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目し、考えを伝えよう。	国語「友情のかべ新聞」K つながりを築きながら読み、おもしろいと思ったことを話し合おう。	国語「もしものときにそなえよう」K 災害への備えについて知るとともに、調べたことを整理して、	国語「もしものときにそなえよう」K 災害への備えについて知るとともに、調べたことを整理して、	国語「もしものときにそなえよう」K 災害への備えについて知るとともに、調べたことを整理して、	国語「もしものときにそなえよう」K 災害への備えについて知るとともに、調べたことを整理して、	国語「もしものときにそなえよう」K 災害への備えについて知るとともに、調べたことを整理して、	国語「もしものときにそなえよう」K 災害への備えについて知るとともに、調べたことを整理して、
特別活動	A 善悪の判断、善徳、徳由と責任 K 正しいと思ったことは、勇気をもって行おうとする態度を育てる。 C 家族愛、家庭生活の充実 K 父兄、祖父祖母を敬愛し、家族の一員として、喜んで役立ようとする態度を育てる。	C 規則の尊重 K 社会生活の中のルールを守り方について考えようとする態度を育てる。 D 感謝 K 自分から伝えてくれた人々や動物等に、感謝の気持ちをもち、返すようとする態度を育てる。	A 敬愛、尊敬 K 物の価値を知り、よき考えや行動、態度のある生活をする態度を育てる。 B 次徳、信望 K 友達と互いに信頼し、助け合い、友情を築くようとする態度を育てる。	D 自然環境 K 自然のすばらしさや不思議な自然現象に興味を持ち、自然や動物を大切にしようとする態度を育てる。 B 次徳、信望 K 友達と互いに信頼し、助け合い、友情を築くようとする態度を育てる。	A 正義、誠実 K 自分に対する不正なことを大切にして、悔しい心で生活しようとする態度を育てる。 D 生命の尊重 K 生命の尊厳を知り、生命あるものを大切にしようとする態度を育てる。	D 感動、感動の心 K 美しいものや感動ものに感動する態度を育てる。 B 次徳、信望 K 友達と互いに信頼し、助け合い、友情を築くようとする態度を育てる。	A 希望と勇気、努力と強い意志 K 自分でやろうと決めたことに向かって、強い意志をもたせ、粘り強くやり遂げようとする態度を育てる。 C 公正、公平、正義感 K 誰もが分け隔てなく平等に生活できるようにしようとする態度を育てる。	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 K 我が国や郷土の伝統文化を大切に、国や郷土を愛する態度を育てる。 D 相互理解、寛容 K 自分でやろうと決めたことに向かって、強い意志をもたせ、粘り強くやり遂げようとする態度を育てる。	D 親切、思いやり K 相手の立場に立って思いやりをもって接しようとする態度を育てる。 A 希望と勇気、努力と強い意志 K 自分でやろうと決めたことに向かって、強い意志をもたせ、粘り強くやり遂げようとする態度を育てる。	B 次徳、信望 K 友達と互いに信頼し、助け合い、友情を築くようとする態度を育てる。 A 善悪の判断、善徳、徳由と責任 K よいことと悪いことを見分け、自分で判断し、いけないことを断つことのできる態度を育てる。	D 自然環境 K 自然のすばらしさや不思議な自然現象に興味を持ち、自然や動物を大切にしようとする態度を育てる。 B 相互理解、寛容 K 自分から伝えてくれた人々や動物等に、感謝の気持ちをもち、返すようとする態度を育てる。	D 自然環境 K 自然のすばらしさや不思議な自然現象に興味を持ち、自然や動物を大切にしようとする態度を育てる。 B 相互理解、寛容 K 自分から伝えてくれた人々や動物等に、感謝の気持ちをもち、返すようとする態度を育てる。
特別活動	学級活動K 「ふれあひになって」学級の育徳や自分の育 1年を振り返る会K 協力して1年を振り返る	運動会K 協力、あって協力をする。友誼の心や友情を育み、友情を築く。 人権の大切 K 気持ちのよい挨拶について考え、人権尊重の態度を育てよう。 学級活動「いじめのない学級づくり」K 互いの人間関係を大切に育てよう。	異学年交流 なかよし部活動/クラブ活動/委員会 K 人権の大切 K 異学年について知り、協力し、互いに人間関係を築く。 人権について 友達と意見を交流し、人権尊重について考える。 委員会K 協力して作品を作る。									8年を振り返る会K 感謝の心を込めての作文を送る。 人権の大切 K 友達と互いに協力し、助け合い、友情を築く。
総合的な学習の時間	東海市ウォッチング 「共に生きる」【福祉・障害者】 K 「ボランティアや障害者の生活について調べたりインタビューをしたりする活動を通して、障害者の方と交流して仲良くなる。そこから、正しい理解を深めるとともに、自己の生き方に結び付けて考えることができるようになる。											
その他	スピーチ大会 K 友達と意見を交流し、人権尊重について考えを深める。 トライルチャレンジ月間 K 人権週間に向けての取り組み、人権関係、人権作文、人権ポスター等											

人権課題： A「女性」 B「子供」 C「高齢者」 D「障害者」 E「高齢問題」 F「アイスの人々」 G「外国人」 H「HIV感染者等」 I「犯罪被害者やその家族」 J「その他の人権関係」 K「普通的な視点からの取組」

6. 推進体制（都道府県・指定都市教育委員会を含む）

